

採用担当者のホンネ調査【～採用の常識・非常識～】

コミュニケーションアプリで業務連絡OK派は52%。

スタンプや絵文字の使用もOKとの回答は56%も！

総合転職エージェント 株式会社ワークポート(東京都品川区、代表取締役社長 CEO:田村高広)は、ワークポートの取引企業の採用担当者に向けて実施した“採用担当者のホンネ調査【～採用の常識・非常識～】”の結果をお知らせ致します。

【内容】

Q. 業務連絡でコミュニケーションアプリ（LINEやTwitter、Facebookなど）を使用するのは“あり”ですか？（遅刻や休みの連絡、業務の報告など）

昨今、無料で通話やメールができるコミュニケーションアプリが多数リリースされており、多くの人が利用しています。プライベートでの連絡はほぼこういったコミュニケーションアプリを使用しているという人も少なくはないはず。では、業務の報告や遅刻・休みの連絡など、仕事上で使用するのは“あり”なのでしょうか？“なし”なのでしょうか？

以前求職者を対象に「仕事の上司に連絡をする際、電話やメール以外(LINEやTwitterなど)を使用することがあるか？」と聞いてみたところ、「ある」と答えた人が40%と、働き手の立場からはビジネスシーンで使用するのは「ナシ」という認識のようでした。

では採用担当者側の意見はどうでしょうか。「業務連絡でコミュニケーションアプリを使用するのは”あり”か？」という問い合わせに対して、「あり」と回答した人が52%と、働き手の認識よりは若干上回る結果となりました。今回業種による特徴的な傾向は見られませんでしたが、比較適どの業界も想像していたよりはコミュニケーションアプリの使用に寛容な印象です。また、スタンプや絵文字の使用についても「あり」と回答した人が56%と半数を超えており、ビジネスシーンでもライトなコミュニケーションが通常化してきているのかも知れません。とはいえ、TPOはわきまえなければなりません。機密性の高い重要な情報や顧客情報・個人情報や、取引先への連絡手段として安易に使用すること取りはセキュリティの信用性などを考えると控えたほうが得策です。

【調査概要】

調査内容：採用担当者の意識調査

調査対象：ワークポート取引企業の採用担当者（45社）

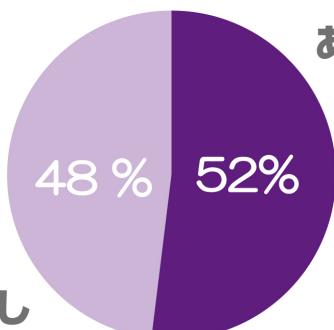
調査期間：2016年5月16日(月)～2016年6月17日(金)

アンケート掲載ページ：http://www.workport.co.jp/recruit_data/detail142.html



業務連絡でコミュニケーションアプリ^(※1)を使用するのは“あり”ですか？

(※1)LINEやTwitter、Facebookなど



■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ワークポート 担当：清水

フリーダイヤル：0120-77-1049（代表） E-mail : otoiawase@workport.jp

所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー6/9F

URL : <http://www.workport.co.jp/corporate/> facebook : <https://www.facebook.com/workport>